

(掲載期間：平成20年3月1日～平成20年4月30日)

目次

◇平成19年度上越教育大学学位記授与式……1	◇人 事……12
■学長告辞	■人事異動
◇平成19年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……3	■学内委員会等委員
■学長告辞	■役員等紹介
◇平成20年度上越教育大学大学院入学式……5	◇一般通報事項……41
■学長告辞	■役員会
◇平成20年度上越教育大学入学式……7	■教育研究評議会
■学長告辞	■経営協議会
◇学 事……9	■教授会
■大学院入学者選抜試験（第2次募集）	■退職者永年勤続表彰状授与式
■学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）	■叙位・叙勲
■大学院入学者選抜試験（教職大学院追加募集）	■ファカルティ・ディベロップメント研修会
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式	■公開講座・免許法認定公開講座
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式	■海外渡航
■平成19年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修	◇関係資料……53
■平成20年度新入生合宿研修	■平成19年度学校教育学部入学者選抜試験状況
■情報セキュリティー講習会	■平成19年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況
■新入生ノートパソコン準備講習会	◇主要日誌……56

平成 19 年度上越教育大学学位記授与式

平成 19 年度の学位記授与式が 3 月 19 日（水）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

本日ここに、学校教育研究科を修了される 265 名の皆さん、まことにおめでとうございます。この 2 年間、幾度も困難の壁にぶつかり、そのたびに新しいアイデアでその壁を克服して得た成果が今日の栄光を得たのです。ここで学んだ成果は、皆さんの心の中に深くしみ込み、教育現場に戻られたとき、ゆっくりと、しっかりと皆さんを支えてくれるでしょう。

この間、皆さんを迎える教育界には大きな変化がありました。教育基本法が全面的に改訂され、それを踏まえた教育三法(学校教育法、地方教育行政法、教育職員免許法)の改正であります。また、教育再生会議の報告や中央教育審議会(中教審)の答申などを経て、今月中には新しい学習指導要領が告示されるというスケジュールになっています。

これらの動向に伴って、大学の教師教育のあり方も大きく問われております。教員養成カリキュラムの質的改善、実質的指導力をより重視した教職大学院制度の構想・展開、教員免許更新制の試行実施は、喫緊の解決課題であります。なによりも、教師に対する揺るぎない信頼を確立しなければなりません。

このように教育界は、今、まさに「激動の渦中」にあると言ってよいでしょう。そんな過激な環境に飛び込んでゆく皆さんへ、自然界の謎解きに挑戦してきた科学者のお話を致します。

地球の謎解きの歴史は面白いことが山積です。科学者の中には大胆な仮説を好み、その本質に共鳴しやすい冒険好きなタイプと、つねに慎重で、安易には新説を受け入れないタイプがあります。科学はこの二つのタイプが討論や対話を通して進歩していくのです。近代における地球内部構造とそのメカニズム解明のスタートはウエーゲナーによって始められたと思います。当時の世界地図を見て、南大西洋を挟んで、南アメリカ大陸と東海岸線とアフリカ大陸の西海岸線がよく似ていることに気がついたので。この大陸の形からアフリカ大陸と南アメリカ大陸がジグソーパズルのように見事にうめあうことは、今では容易に理解できることです。これと同じような発想をウエーゲナーは 1910 年に行ったのです。海岸線のパズル合わせから、世界の大陸はひとつの大きな大陸を元々はついていたと考えたのです。

しかしこの仮説は、実際見たわけでもなく、2 億年という長い時間の流れの中での話で、しかも地球の表層が動くということなので慎重な科学者の中では受け入れがたいものであったのです。

また、一方で海底の堆積物に妙な現象があることが報告されていました。つまり、地球の海は少なくとも 30 億年くらい前にはすでに存在しているのに、海底をいくら掘っていても 9 億年以上古い岩石や堆積物がみつからないということでした。この謎解きは、広い海の中央部でマントルから新しい地殻が湧き出してくる、そして、それが両方に広がっていき最後はまた海底に潜っていくという循環が海洋底におこっているというアイデアによってなされたのです。1960 年代初頭に、アメリカのヘスによ

って唱えられた“海底拡大説”です。中央海嶺で湧き出るマントルが新しい海底地殻をつくり、それが両側に広がっていき、広がる海底近くは究極的には海溝のなかに潜りこんでゆくという大きな循環が地球の表層にあると唱えたのでした。

この二つの例にみるように、一件、本質とはなんの関係もない単純な地球上に起こっている現象を“考える”科学者によって、ひとつの体系の中に織り込まれてきたこの話は一つの大きな地球のドラマをつくっています。まさに“新しい地球説”の誕生でした。

このように、ウェーゲナーの発想は、その後の冒険好きの科学者と、真理に対して謙虚な科学者の努力によって、完成されました。その巨大な大陸の名はパンゲア (pangea) と呼び、二つの部分：北の方をローラシア、南の部分をゴンドワナとしたのです。このパンゲアが中生代の始め（約2億年前くらい）に分裂をはじめ、現代の位置まで移動したことを様々な証拠にもとづいて解いたのです。こうして、現代ではウェーゲナーの「大陸移動説」として完成されたものとなったのです。

しかし、ウェーゲナーの1915年に出された著書「大陸と海洋の起源」で主張した「大陸移動説」は、彼の専門が気象学であることもあり、化石研究が主流な地質学では、全く認められなかったのです。彼はそれでは満足できず、大陸移動説の根拠を探すためにグリーンランドの調査を行っている途中、50歳の若さでなくなってしまったのです。彼の墓標には「偉大なる気象学者」と記されていますが、「大陸移動説」については何も触れられていないということです。

地球の表面に表れた現象の謎解きが、地球の本質的成国論への大きな糸口が開かれたように、私たちの直面する教育の課題も似たにおいを感じます。教育現場で起こっている本当に様々な現象は、人類の歴史そのものであって、複雑で複合的で繊細でダイナミックであります。しかしその本質的な原因については、現在ほんの少ししか解きあかされていません。

教育は人類の歴史の中で作られ確立されてきたもの、いや今も構築中のものです。教育とは何かを問われれば“人類の永遠の宿題”と答えましょう。私たち教育に関わる人々は、今ここに起こっている課題に直面して、それに対して立ち向かうこと、そしてその中から学び取り、次世代に伝えることが重要なのです。

教育は人の歴史の中の最大の文化です。これを追い続けるために私たちは存在しなければなりません。理解を通じた緩やかな地球との共生が人の文化「教育」を継続しつづけます。それが私たちの願いであることを忘れてはなりません。

教育は、追いかけて追いかけて、さらに追いかけて続けることです。またその千変万化を楽しむことも重要な仕事です。

君たちに、このことをお伝えし、今後の活躍に期待しつつ、私の告辞といたします。



平成 19 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 19 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日（水）午前 11 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、学生歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、蛍の光をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。いまから 4 年前、平成 16 年の 4 月、桜の満開のもと、上越教育大学に入学してから 4 年間、学業に専念し、本日見事に、卒業の日を迎えられました。心よりお祝いを申し上げます。皆さんの努力のたまものでありますが、何よりもそれを支え続けてくれた、ご家族のみなさんをはじめとする多くの方々への感謝を忘れてはなりません。感謝の気持ちを持つことは、社会人への第一歩でもあります。皆さんはこの 4 月から教育界へ社会人として第一歩を踏みだします。これまでの 4 年間で学んだことを、本当の実社会で実践していく日が始まるのです。これから教育現場で、21 世紀に育っていく子どもたちと生活していくわけですが、その 21 世紀がどんな時代なのかを少し語ってみたいと思います。それにちなんで、壮大な宇宙の話をしてみたいと思います。

私たちの太陽は 4000 億個以上の星からなる、天の川銀河系と呼ばれる集まりの中の、一つの星に過ぎません。また、天の川銀河は宇宙の中の数 10 億ある銀河の一つに過ぎません。地球は、そんな太陽系の中の一つの星にしか過ぎません。

“コンタクト” “スタートレック” “バビロン 5” “スターウォーズ” “エイリアン” その他、たくさんの SF 映画があります。これらに共通のことは異星人と人類の関係を扱っている物語です。そして、多くの人がいつか友好的な異星人と人類が出会うことを夢見ています。互いに協力して宇宙の多くのことを学びあい、協力しあうことを夢見ています。もし私たちの隣人である異星人が、人類にコンタクトをとろうとしているなら、私たちは彼らを探すべきだと思いませんか。人類は現在、宇宙のどこかにある生命の証を探す、いくつかの計画を進めています。

1959 年、科学雑誌『Nature』上にフィリップ・モリソンとジュセッペ・コッコーニが初めて地球外生命体に言及する論文を発表しました。その論文で「地球外に文明社会が存在すれば、我々は既にその文明と通信するだけの技術的能力を持っている」と指摘したのです。またその通信は電波を通して行われるだろうと推論し、当時の学界に衝撃を与え、これを契機として地球外文明の探査が始まったのです。

そして、1960 年、世界初の電波による地球外知的生命体探査である「オズマ計画」が行われました。「オズマ」の名はライマン・フランク・ボームの『オズの魔法使い』のオズマ姫に由来しています。

その次に計画されたプロジェクトは、地球外生命による宇宙文明の存在を検知しようというプロジェクトの総称で、SETI（セティ）と略称される、【地球外知的生命体探査（Search for Extra-Terrestrial Intelligence）と呼ばれる】ものがあります。SETI は最初の S とうしろの I をとると E T となります。つまり、地球外に文明を持つ生物；ET を探す研究です。

現在、プエルトリコにあるアルシド天文台の巨大な電波望遠鏡によってあつめられた宇宙からの膨

大な電波データを持っています。この電波の中に何かなぞの生物文化圏から信号が送られてはいないかと考えています。280万種におよぶ、その膨大な電波データは、どんなスーパーコンピュータを使っても、100年以上解析にかかってしまうほどの量です。そこで1999年にアメリカ・カリフォルニア大学バークレー校の研究者はSETI@HOMEというプロジェクトを作ったのです。

それは世界に散らばっている個人所有のパソコンをインターネットでつないで超膨大なコンピュータをつくり、データを小さく分け、ネットで送る、受けとった人はその解析をやって答えを送り返す、という作業を繰り返すという計画を始めたのです。つまり、個人のユーザーが、パソコンを休ませるとき使うスクリーンセーバーの代わり SETI@home ソフトをパソコンにダウンロードすると、中央のSETI@home サーババンクから生のデータを採取し、例えばE.T.のような知的生命体や、テレビ番組、無線通信などの信号パターンを探索したのです。

プログラムをスクリーンセーバー代わりに走らせるとはいえ、全体の計算処理能力は、累積CPU時間で200万年、データ量で50テラバイトと膨大です。同プロジェクト企画者によれば、これまでに500万人以上がソフトをダウンロードした。この作業のおかげでこの一年間で28万年分のデータの解析が終わったと言います。この分で行けば、あと50年で解析は完了する見通しとのことです。

こうして行われている「SETI@home Classic」計画は2005年12月15日に一応の初期の完成段階を迎え、それをさらに発展させるように、現在では別の形で生き続けることになりました。引き続き地球外生命体の無線信号の探索を行うことを続けるとともに、新たに気象の変化、天文学、人間の疾病などほかの研究プロジェクトにも使うというものに進化しています。

こうしたプロジェクトを見ると、21世紀は壮大な宇宙のなぞ解きに挑戦し「人」－「地球」の関係はさらに「宇宙」まで広がり、「人の存在の意味」を問う時代になってきています。そして、それらのプロジェクトは「世界市民を巻き込ん」でいて、全世界の人々にその参加を望んでいるのです。

今、お話ししたことは、世界を巡る新しい環境が生まれていることを示しています。21世紀の子どもたちに必要なことは、世界の子どもたちと調和的に共存できる能力を持つことです。世界を意識した子どもたちを育ててほしいのです。世界的存在観を持つ子どもたちの育成に携われる仕事：それが教育者です。この意義あるフィールドに立つ君たちの将来に大いに期待します。

皆さんの幸運を祈りつつ、告辞といたします。



平成 20 年度上越教育大学大学院入学式

平成 20 年度の大学院入学式が 4 月 8 日（火）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

本日、上越教育大学大学院に入学された 287 名のみなさんを心より歓迎いたします。また教員研修留学生として入学された方にも心より歓迎申し上げます。

上越教育大学大学院は初等教育の実践に関わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員が高度な学習と研究の機会を得て研鑽できるよう、昭和 53 年（1978）に設立されました。創設以来現職教員 3,135 名を含む 5,136 名の修士修了者を教育界に送り出し、日本の教育の資質向上とその改善に大きく寄与して参りました。

今日、ここに入学されてきた皆様はこれから修了までに修士論文を作成し提出することになります。現場からこられた方々は、教育現場の日常の中から多くの課題をみつけていることと思います。こんなことを解決したい、こんな課題に取り組んでみたいと、心がはやっていることでしょうか。教育現場で起きている現象の解決は、何を解いたら現象解決になるのでしょうか。修士課程における研究として、その課程をどう解いていくかを指導に当たる先生と相談しながら、それに関する先行研究論文を入手したり、その用いるべき手法の検討などから研究が始まります。

より基本的で、本質的な課題は何かを探っていただき、それに関する研究に挑戦していただきたい。この上越教育大学大学院に、「教育」の課題に挑戦しようと集まってきた仲間とぜひ、それぞれの得意分野からそのなぞ解きをやって欲しいのです。

挑戦と言えば、先日、新聞で面白い記事を目にしました。「よみがえる往年の音と響き」と題するものです。作家藤沢周平のふるさと、山形県鶴岡市にある電器屋さん「オーディオラボ・オガワ」の音への挑戦の話です。

全国には、今でもオーディオファンが多くいます。往年の名演奏家のレコードや CD を鳴らして楽しみたいという方々です。その音の再成をこよなく愛している方々です。私も大学の助手の時代、九州で、1 人のファンでした。レコードプレーヤーで音をひろい、それをアンプで増幅して、スピーカーで音を出すという単純なプロセスなのですが、一度やってみるとこれが面白いのです。まずプレーヤーの音をひろうところにカートリッジという針の部分があり、この針やその振動を電気信号に変える部分に個性があるのです。また、それぞれアンプもスピーカーも同一の会社のものではなく、他社のものの個性をよく理解して、それをつなぎ合わせて自分なりの音を作っていくというもののなのです。

しかし、このステレオシステムの音の決め手は何といっても音そのものを出すスピーカーです。スピーカーは人の声に似て、それぞれ個性を持っています。だからオーディオファンは一つ一つのスピーカーを自分の子どものように大切にします。ずっと昔、若いときに聴いた音を再現したいと思う人々はたくさんいます。しかし時が経ってしまい、修理部品がなくなっているようなものは押し入れで寝ています。音が出なくても、捨てきれないのもファンの心なのです。その壊れものを必ず直してくれるというお店があると聞けば、全国からファンが押しかけるでしょう。

修理で一番大事なのは何かと問うと「多分カンと経験でしょう」という答えが返ってきました。そのカンは誰にも負けないスピーカーの試聴の数が支えているとのこと。これまで前の通信関係の会社で、毎日数百台を聴き、十数万台は手がけたとのこと。修理に必要な部品が得られないときは、部品を作る場合もあるほど

の凝りようです。私の経験を少しお話しすると、音の7割はアンプやプレーヤーではなく、スピーカーです。そしてスピーカーは使い込めば使い込むほど、音が良くなるもので、スピーカーはエイジング（熟成）が大切で、手入れすれば半永久的に使えるものです。そう、スピーカーはスイッチ・オンですぐ鳴り出すものではなく、一本のスピーカーでは100時間はかかり、入手してから10年後に「いまが一番いい音」という方もいるぐらいです。また、繊細なもので、接続ケーブルを換えるだけで音がすっかり変わります。

だから自分が昔、選んで手に入れたスピーカーは今からは手に入らない宝物なのです。したがって修理して元にもどるなら、是非とも直したいと思うファンが全国にいっぱいいるのです。

その修理のコツは「元の状態に戻せば、素晴らしい音が出る。メーカーのオリジナリティ、つまり音質を尊重すること」だと修理の達人ゴッドハンド達がいる。「手を加えるなんて大それた事はできない。元々持っているものを呼び覚ますだけだ」と言っています。

ゴッドハンドというが、この修理はやはり聴力が重要です。聴力は先にも述べましたが、何十回何百回の経験を通した結果だとゴッドハンド達が言っています。

ビンテージ・スピーカーの再生者はスピーカーを修理・改善するのではなく、スピーカーが元々持っている良さを引き出すのであり、そのためには良いスピーカーの音をどれだけ沢山、どれだけいろいろなものを聞いた経験のみがそれを支えてくれるということです。

これは正しく教育に通ずるものではないかと思います。教育は子どもをこうしてやろうとか、目的に合わせて向かわせようかなどというものではなく、子どもの持っている素質を引き出すことなのです。それには、この大学でこれから学んでいくいろいろなものがそれを支えてくれるものなのだとは私は思っています。

この2年間でいろいろな音を聞いてください。これからの皆様の大学院での修業を期待いたします。

これからも、上越教育大学は学校教育のあらゆる課題を持ち込んで研究できる場所として、発展していきます。この歴史を継続させ、持続させるためにも皆さんの参加が必要です。皆さんを歓迎し、活躍を期待して告辞といたします。



平成 20 年度上越教育大学学部入学式

平成 20 年度の学部入学式が 4 月 8 日（火）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、学園歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 渡 邊 隆

ただいま、上越教育大学に入学された 165 名のみなさんを心から歓迎いたします。また、ご列席のご家族のみなさんは、お子様の大学生としての晴れ姿に大きな喜びを感じておられることでしょうか。お慶び申し上げます。

上越教育大学は、昭和 53 年（1978）に新しい理念に基づいて社会が求める教員を養成するために設立され、多くの優秀な教員を育ててきました。創立して 30 年という歴史を持ち、現在は教員養成の大学として日本のトップクラスにまで成長してきました。

私たちの上越教育大学は学校教育の高度なシステムを備えています。つまり、大学は学部—大学院—修士—博士という「学校教育」の完全なシステムを持っています。私たちは皆さんを鍛え導いていきます。ご家族の方たちにはどうぞお任せくださいと申し上げます。

ここで皆さんに望むことがあります。まずは「学ぶ」とは何かの問いを常に胸中に入れて 4 カ年を過ごして下さい。また、大学で高校時代と大きく違うのは、卒業研究という論文作成が最終ゲートにあるということです。「卒論」の意味を理解して下さい。卒論を通してそれは「何故勉強しなくてはいけないの？」という子どもたちの重い質問に対する答えを作ってください。この疑問は時代と共に変わっていく化け物みたいなものです。4 カ年でどんな答えができるか、楽しみです。期待しています。

ところで、これから変わっていく私たちの世界、21 世紀とはどんな世界になるのでしょうか。それにちなんでお話をしたいと思います。

3 月 19 日に英国人の SF 作家アーサー・C・クラークさんが亡くなりました。多くの著書を出し、宇宙へと人々の心をかきたてました。映画化された小説「2001 年宇宙の旅」はその代表的なものですが、これは 1968 年、スタンリー・キューブリックによって映画化されたものでした。そして今は 2008 年です。

クラークさんが注目されたのは、青年時代に発表した静止軌道衛星の論文でした。この静止衛星は今では天気予報や衛星放送などに使われる、我々の暮らしに欠かせないものです。この静止衛星に国際宇宙ステーションの建設も進み、日本初の有人宇宙施設「きぼう」の設置もはじまり、今や宇宙の夢がどんどん現実になっていっています。

「2001 年宇宙の旅」は最良の SF であり、著者の科学的アイディアが盛り込まれ、人類の進化と宇宙の開発の夢を語ってくれています。単なる小説家を越えた存在であったと思います。彼が予言し、実現化したもので最も有名なものは、先にも述べました静止衛星ですが、コンピュータでは「2001 年」に登場する「HAL」という人工知能を持った大型コンピュータがあります。また「遠い遠い未来、多分数千年先のことだが、人々は星空を眺めながら、どれが地球なのかを指さすことが出来なくなるだろう」といっています。つまり、いずれ人類は地球を脱出して、宇宙へ旅立つという予言をしています。

大隕石の衝突で滅びた恐竜は宇宙計画がなかったからだ。小惑星が地球に衝突する危険を避けるためにも宇宙へ、というのがアーサー・C・クラークさんの持論でした。

今、私たちの地球上では、グローバルで考えなければいけない課題が山積みです。環境の問題、数多くあ

る異文化の理解などなどです。

これらの課題は一国ではとても解決されるものではありません。グローバルな視点から、それに立ち向かわねばなりません。21世紀はまさに全地球から宇宙への時を迎えているのです。

こうした視点を教育の中で、21世紀を背負っていく子どもたちに理解を促さねばなりません。私たち教育に携わる者はこの時代のこの視点を持ち、子どもたちを育てていく義務があるのです。

皆さん、4カ年どうか、心のどこかにこの視点を置いて学んで下さい。教育は日本を支える大きな仕事です。

「教育」という仕事は資源のない日本にとっては、貴重な仕事ですが、地味な仕事です。私たちの教育に対する努力は必ずや日本の社会の基盤を支えるものであることは確かです。社会のインフラを支える貴重な仕事です。これから長い時間をかけて、日本の社会基盤を支える大きな仕事を一緒にやっていきます。入学生の皆さんの若いエネルギーを期待して、告辞といたします。



学 事

○大学院入学者選抜試験（第2次募集）

平成20年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（第2次募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員 15人（学校教育専攻 若干人，幼児教育専攻 若干人，教科・領域教育専攻15人）に対し，応募者 6人，合格者 5人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員 18人（教育実践高度化専攻 18人）に対し，応募者 5人，合格者 5人であった。

入学願書受付 平成20年2月13日（水）～2月18日（月）

入学者選抜試験 平成20年3月5日（水）

合格者発表 平成20年3月11日（火）

○学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）

平成20年度学校教育学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者299人，合格者60人であった。

入学願書受付 平成20年1月28日（月）～2月6日（水）

入学者選抜試験 個別学力検査等は課さない

合格者発表 平成20年3月23日（日）

○大学院入学者選抜試験（教職大学院追加募集）

平成20年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験（専門職学位課程（教職大学院）追加募集）を次のとおり実施した。

募集人員24人に対し，応募者 2人，合格者 2人であった。

入学願書受付 平成20年3月13日（木）～3月17日（月）

入学者選抜試験 平成20年3月25日（火）

合格者発表 平成20年3月27日（木）

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成19年度学位記授与式が平成20年3月24日（月）に兵庫教育大学において行われた。

なお，修了者13人のうち，本学の配属学生は3人である。

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成20年度入学式が平成20年4月11日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお，入学者31人のうち，本学の配属学生は4人である。

○平成19年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

本学と課外活動団体のリーダーが、その任務を深く認識し、意見交換を通して、リーダーとしての基本的知識の修得を図るとともに、課外活動団体相互の親睦と理解に基づき、課外活動の発展向上を目的として実施した。

期 日 平成20年3月10日（月）・11日（火）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 学 生 44団体91人

教職員 9人



○平成20年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日 平成20年4月26日（土）・27日（日）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 1年次学生 163人

教職員 26人



○情報セキュリティ講習会

新入生を対象として、本学における情報セキュリティ対策、情報セキュリティーポリシーの必要性及び情報セキュリティを確保することの重要性等について指導するため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成 20 年 4 月 16 日 (水)

場 所 : 講 堂

講習内容 : 「情報メディア教育支援センターからみなさんへの期待」

情報メディア教育支援センター長 南部 昌敏

「情報セキュリティ入門」

情報メディア教育支援センター 准教授 大森 康正

参加人員 : 学部学生 149 人, 大学院学生 190 人

○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が学内において、各自の所有するノートパソコンを活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成 20 年 4 月 12 日 (土), 14 日 (月)~18 日 (金), 21 日 (月)~25 日 (金)

場 所 : 教育情報訓練室 2, 第 2 講義棟 103 室 他

講習内容 : 1) アンチウイルスソフトの導入及びチェックの方法

2) ネットワーク接続の方法

3) ポータルサイト, Web メール, 講義支援システムの利用方法 等

参加人員 : 学部学生 157 人, 大学院学生 86 人



新入生ノートパソコン準備講習会

○人事異動

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H20. 4. 1	役 員 任 命	監事	長谷川 彰	財団法人新潟県文化振興財団理事長 (前 国立大学法人新潟大学長)
		監事	大 原 啓 資	
H20. 4. 1	部局長等 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 兼務解除 兼 務 兼務解除 兼 務 兼務解除 兼 務 兼 務 兼 務 兼 務	経営協議会委員	木 浦 正 幸	上越市長
		経営協議会委員	佐久間 昇 二	株式会社WOWOW相談役
		経営協議会委員	佐々木 正 峰	国立科学博物館長
		経営協議会委員	中 野 敏 明	新潟県中学校長会会長
		経営協議会委員	蓮 見 音 彦	和洋女子大学長
		経営協議会委員	山 極 隆	玉川大学教授
		経営協議会委員	若 井 彌 一	教授 (学校教育学系)
		教育研究評議会評議員	増 井 三 夫	教授 (学校教育学系)
		教育研究評議会評議員	加 藤 哲 文	教授 (臨床・健康教育学系)
		教育研究評議会評議員	野 村 眞木夫	教授 (人文・社会教育学系)
		教育研究評議会評議員	立屋敷 かおる	教授 (自然・生活教育学系)
		教育研究評議会評議員	西 村 俊 夫	教授 (芸術・体育教育学系)
		教育研究評議会評議員	藤 岡 達 也	教授「学校教育専攻」
		教育研究評議会評議員	有 澤 俊太郎	教授「教科・領域教育専攻」
		教育研究評議会評議員	小 林 辰 至	教授「教育実践高度化専攻」
		教育研究評議会評議員	中 道 公 壽	学務部長
		学校教育総合研究センター長	加 藤 泰 樹	教授 (芸術・体育教育学系)
		学校教育実践研究センター長	加 藤 泰 樹	教授 (芸術・体育教育学系)
		情報基盤センター長	南 部 昌 敏	教授 (学校教育学系)
		情報メディア教育支援センター長	南 部 昌 敏	教授 (学校教育学系)
		実技教育研究指導センター長	市 川 真 澄	教授 (芸術・体育教育学系)
学校教育学系長	増 井 三 夫	教授 (学校教育学系)		
臨床・健康教育学系長	加 藤 哲 文	教授 (臨床・健康教育学系)		
人文・社会教育学系長	野 村 眞木夫	教授 (人文・社会教育学系)		
自然・生活教育学系長	立屋敷 かおる	教授 (自然・生活教育学系)		
芸術・体育教育学系長	西 村 俊 夫	教授 (芸術・体育教育学系)		

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	兼 務 兼 務 兼 務	学校教育専攻長 教科・領域教育専攻長 教育実践高度化専攻長	藤 岡 達 也 有 澤 俊太郎 小 林 辰 至	教授「学校教育専攻」 教授「教科・領域教育専攻」 教授「教育実践高度化専攻」
	特別顧問			
H20. 4. 1	委 嘱 委 嘱 委 嘱	特別顧問（免P等担当） 特別顧問（自然環境保全・活用担当） 特別顧問（地域連携担当）	青 木 眞 大悟法 滋 曾 田 耕 一	
	大学教員			
H20. 3. 30	辞 職	（上越市立城北中学校教頭）	松 沢 要 一	准教授（学校教育総合研究センター）
H20. 3. 31	定年退職		中 野 靖 夫	教授（学習臨床講座）
	定年退職		大 嶽 幸 彦	教授（社会系教育講座）
	定年退職		太 田 將 勝	教授（芸術系教育講座美術分野）
	定年退職		大 瀧 ミドリ	教授（生活・健康系教育講座家庭分野）
	定年退職		滝 山 桂 子	教授（生活・健康系教育講座家庭分野）
	定年退職		平 野 七 濤	教授（実技教育研究指導センター）
	定年退職		丸 山 昭 生	講師（特別支援教育実践研究センター）
	辞 職	創価大学教育学部教授	西 穰 司	教授（生徒指導総合講座）
	辞 職	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	三 村 隆 男	准教授（生徒指導総合講座）
	辞 職	駿河台大学現代文化学部教授	角 田 京 子	准教授（心理臨床講座）
	辞 職	国立大学法人岡山大学教育学部准教授	岡 崎 正 和	准教授（自然系教育講座数学分野）
	辞 職	新潟工科大学工学部教授	藤 木 一 浩	准教授（生活・健康系教育講座家庭分野）
	任期満了	新潟市立白山小学校教頭	浅 野 秀 之	准教授（学校教育総合研究センター）
H20. 4. 1	昇 任	教授（学校教育学系）	小 林 恵	准教授（学習臨床講座）
	採 用	教授（学校教育学系）	武 嶋 俊 行	横浜市立芹が谷中学校長
	採 用	教授（学校教育学系）	廣 瀬 裕 一	富山県立南砺総合高等学校福野高等学校長
	採 用	教授（学校教育学系）	瀬 戸 健	高岡市立二塚小学校長
	採 用	教授（学校教育学系）	梅 野 正 信	国立大学法人鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター教授
	昇 任	教授（学校教育学系）	松 本 修	准教授（学習臨床講座）
	昇 任	教授（人文・社会教育学系）	松 田 慎 也	准教授（社会系教育講座）
	昇 任	教授（自然・生活教育学系）	天 野 和 孝	准教授（自然系教育講座理科分野）
	昇 任	教授（自然・生活教育学系）	細 江 容 子	准教授（生活・健康系教育講座家庭分野）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	阿 部 靖 子	准教授（芸術系教育講座美術分野）
	採 用	准教授（学校教育学系）	橋 本 定 男	新潟市立鏡淵小学校長
	採 用	准教授（学校教育学系）	松 沢 要 一	（上越市立城北中学校教頭）
	採 用	准教授（学校教育学系）	水 落 芳 明	新潟市立東中野山小学校教諭
	採 用	准教授（学校教育学系）	赤 坂 真 二	新潟市立曾野木小学校教諭
	採 用	准教授（学校教育学系）	両 角 達 男	国立大学法人静岡大学教育学部准教授
	採 用	准教授（臨床・健康教育学系）	佐 藤 淳 一	
	採 用	准教授（人文・社会教育学系）	小 島 伸 之	
	採 用	講師（自然・生活教育学系）	佐 藤 ゆかり	新潟県立長岡大手高等学校教諭
	採 用	助教（臨床・健康教育学系）	道 城 裕 貴	関西学院大学大学院文学研究科博士研究員
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	伊 佐 貢 一	新発田市立竹俣小学校教頭
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	佐 藤 佐 敏	国立大学法人新潟大学教育人間科学部附属新潟中学校教諭
	配 置 換	特任准教授（学校教育実践研究センター）	古 閑 晶 子	准教授（学校教育総合研究センター）
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	小 林 志 郎	上越市立城西中学校長
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	笹 川 恵美子	上越市立春日小学校長
	採 用	特任講師（特別支援教育実践研究センター）	細 谷 一 博	特別支援教育実践研究センター特別支援教育事業推進コーディネーター
	採 用	特任講師（特別支援教育実践研究センター）	加 藤 哲 則	特別支援教育実践研究センター特別支援教育事業推進コーディネーター
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系コース」	川 崎 直 哉	副学長
	兼 務	教授「学校教育専攻学校臨床研究コース」	田 中 敏	学長特別補佐
	兼 務	准教授（学校教育実践研究センター）	釜 田 聡	准教授（学校教育学系）
	兼 務	教授（保健管理センター）	上 野 光 博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	教授（保健管理センター）	増 井 晃	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	教授（情報メディア教育支援センター）	南 部 昌 敏	教授（学校教育学系）
	兼 務	准教授（情報メディア教育支援センター）	大 森 康 正	准教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	准教授（情報メディア教育支援センター）	井 上 久 祥	准教授（学校教育学系）
	兼 務	准教授（情報メディア教育支援センター）	石 川 真	准教授（学校教育学系）
	兼務解除		高 野 浩 志	講師（情報基盤センター）
	兼 務	講師（情報メディア教育支援センター）	高 野 浩 志	講師（学校教育学系）
	兼 務	心理教育相談室相談員	内 田 一 成	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	心理教育相談室相談員	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	兼 務	心理教育相談室相談員	五十嵐 透 子	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	心理教育相談室相談員	宮 下 敏 恵	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	心理教育相談室相談員	佐 藤 淳 一	准教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	心理教育相談室相談員	高 橋 靖 子	助教（臨床・健康教育学系）
	兼 務	教授（特別支援教育実践研究センター）	土 谷 良 巳	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	講師（特別支援教育実践研究センター）	村 中 智 彦	講師（臨床・健康教育学系）
	兼 務	助教（特別支援教育実践研究センター）	道 城 裕 貴	助教（臨床・健康教育学系）
	附属教員			
H20. 3. 30	辞 職	（上越市立大町小学校教諭）	歌 川 孝 子	附属小学校教頭
H20. 3. 31	辞 職	上越市立大島小学校教諭	宮 崎 容 子	附属幼稚園教諭
	辞 職	上越市立大手町小学校養護教諭	須 藤 里 美	附属幼稚園養護教諭
	辞 職	長岡市立大河津小学校教頭	林 克 巳	附属小学校教諭
	辞 職	上越市立春日小学校教諭	武 井 由 香	附属小学校教諭
	辞 職	南魚沼市立六日町小学校教諭	桑 原 利 恵	附属小学校教諭
	辞 職	柏崎市立柏崎小学校教諭	山之内 知行	附属小学校教諭
	辞 職	新潟県立燕中等教育学校教頭	野 池 康 一	附属中学校教諭
	辞 職	上越市立城北中学校教諭	滝 澤 豊	附属中学校教諭
H20. 4. 1	昇 任	附属幼稚園副園長	西 澤 可江子	附属幼稚園教頭
	採 用	附属幼稚園教諭	泉 真 理	上越市立高志小学校教諭
	採 用	附属幼稚園養護教諭	富 永 範 子	糸魚川市立木浦小学校養護教諭
	採 用	附属小学校副校長	柳 恒 雄	三条市立保内小学校長
	昇 任	附属小学校教頭	山 本 浩 明	附属小学校教諭
	昇 任	附属小学校主幹教諭	泉 豊	附属小学校教諭
	配 置 換	附属小学校指導教諭	清 水 雅 之	附属小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	佐々木 潤	柏崎市立柏崎小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	恩 田 忍	十日町市立田沢小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	磯 野 正 人	糸魚川市立下早川小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	橋 本 忍	新潟市立鳥屋野小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	高 峯 綾 子	上越市立八千浦小学校教諭
	昇 任	附属中学校副校長	廣 川 正 文	附属中学校教頭
	昇 任	附属中学校教頭	岸 勝 巳	附属中学校教諭
	昇 任	附属中学校主幹教諭	鈴 木 克 典	附属中学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H20. 3. 31	配 置 換	附属中学校指導教諭	吉 樂 均	附属中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	水 谷 桂 介	上越市立春日中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	中 村 浩 行	上越市立城西中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	小 池 克 行	上越市立城西中学校教諭
	事務系職員			
	定年退職		稲 葉 幸 夫	総務部長
	定年退職		東 和 憲	学務部長
	定年退職		池 田 健 助	学務部研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）
	辞 職		田 中 芳 一	学務部教育支援課副課長（教職大学院担当）
	辞 職	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構総務部総務課長	村 松 薫	総務部総務課長
	辞 職	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課長	平 野 秀 秋	総務部附属学校事務室長
	辞 職	大学共同利用機関法人人間文化研究機構施設課長	甲 州 与志雄	総務部施設マネジメント課長
	辞 職	国立大学法人名古屋大学学務部入試課長	田 上 隆	学務部入試課長
	辞 職	独立行政法人国立高等専門学校機構長岡工業高等専門学校総務課長	家 崎 利 正	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に予算担当）
辞 職	国立大学法人新潟大学財務部契約課契約第二係長	宮 路 真 一	総務部財務課契約チーム主査（主に契約担当）	
辞 職	国立大学法人新潟大学医歯学系学務課学務第一係	堀 慎太郎	学務部教育支援課教務支援チーム	
H20. 4. 1	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課総務係長	岩 井 洋	総務部企画室企画・評価チーム主任
	在籍出向	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業推進課事業推進係長	南 雲 晋	総務部附属学校事務室附属学校チーム主任
	事務取扱	総務部長事務取扱	新 宅 鉄 衛	事務局長
	採 用	学務部長	中 道 公 壽	国立大学法人佐賀大学学務部長
	採 用	総務部総務課長	齋 藤 勇 郎	国立大学法人山梨大学秘書課長
	配 置 換	総務部附属学校事務室長	東 條 俊 明	総務部総務課副課長
	採 用	総務部施設マネジメント課長	安 田 誠	独立行政法人国立高等専門学校機構施設課課長補佐
	採 用	学務部入試課長	渡 辺 明 弘	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課長
	配 置 換	総務部総務課副課長	細 谷 敏 明	学務部教育支援課副課長（教育課程担当）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	配 置 換	総務部総務課総務チーム主査（主に総務担当）	渡 邊 茂 康	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に企画調整担当）
	配 置 換	総務部総務課総務チーム主査（主に法規担当）	山 口 信 幸	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
	兼務解除 復 帰	総務部企画室企画・評価チーム主査（主に企画調整担当）	山 口 信 幸	広報室
	昇 任	総務部財務課財務・監査チーム主査（主に予算担当）	細 野 学	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業支援課総務係長
	昇 任	総務部財務課契約チーム主査（主に契約担当）	竹 内 真 一	総務部財務課財務・監査チーム主任
	担当命免	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設企画担当）	星 野 太 一	総務部附属学校事務室附属学校チーム主任
	配 置 換 担当命免	総務部施設マネジメント課施設チーム 学務部教育支援課副課長（教務推進担当）	服 部 正 人	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に固定資産管理担当）
	昇 任	学務部教育支援課副課長（教務支援担当）	藤 田 健 仁	学務部学生支援課学生支援チーム
	昇 任	学務部教育支援課副課長（学校連携担当）	中 川 則 之	学務部教育支援課副課長（教育企画・GP支援担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務推進チーム主査（主に教務推進担当）	佐 藤 誠 一	総務部総務課総務チーム主査（主に総務担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務推進チーム主査（主にGP支援担当）	岡 崎 明 弘	総務部総務課総務チーム主査（主に法規担当）
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）	瀧 本 一 幸	学務部教育支援課教務企画チーム主査（主に教務企画担当）
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）	飯 塚 章 次 郎	学務部教育支援課教務企画チーム主査（主にGP支援担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務推進チーム主任	高 橋 輝 昭	学務部教育支援課教務支援チーム主査（主に教育実習担当）
	配 置 換	学務部教育支援課教務推進チーム主任	野 崎 薫	学務部学術情報課学術情報チーム主査（主に総務担当）
	採 用	学務部教育支援課教務支援チーム	松 崎 富 江	学務部教育支援課教務企画チーム主任
	配 置 換	学務部教育支援課学校連携チーム	畔 上 雅 子	学務部教育支援課教務企画チーム主任
	再 雇 用	学務部研究連携室研究連携チーム	齊 藤 正 信	
	再 雇 用	学務部研究連携室研究連携チーム	岡 村 聡 美	学務部教育支援課教務企画チーム
	復 帰	学務部学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）	稲 葉 幸 夫	
	任期更新	学務部学生支援課学生支援チーム	池 田 健 助	
			浅 岡 芳 郎	独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家事業推進課事業推進係長
			笹 川 和 博	学務部学生支援課学生支援チーム

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	担当命免	学務部入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）	永 井 和 行	学務部入試課入試チーム主査（主に大学院入試担当）
	配置換	学務部入試課入試チーム主査（主に大学院入試担当）	桐 山 敦 史	総務部施設マネジメント課施設チーム主査（主に施設企画担当）
	事務補佐員			
H20. 3. 3	採 用	総務部総務課人事・労務チーム	藤 村 美 穂	
H20. 3. 31	退 職	（平成20年3月30日限り）	田 中 真 美	総務部附属学校事務室附属学校チーム
	退 職	（平成20年3月30日限り）	金 子 マ リ	総務部財務課財務・監査チーム
	退 職	（平成20年3月30日限り）	北 村 亜 澄	学務部研究連携室研究連携チーム
H20. 4. 1	採 用	総務部財務課契約チーム	吉 田 厚 子	
	採 用	総務部財務課契約チーム	五十嵐 り か	
	採 用	学務部研究連携室研究連携チーム	横 川 万里恵	
	採 用	学務部学術情報課学術情報チーム	佐 藤 弘 美	
	臨時用務員			
H20. 3. 25	退 職	（平成20年3月24日限り）	赤 澤 香代子	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員
H20. 3. 31	退 職	（平成20年3月30日限り）	市 村 みゆき	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員
H20. 4. 3	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	山 川 まゆみ	
	採 用	総務部附属学校事務室附属学校チーム調理員	滝 澤 貴 子	
	キャリアコーディネーター			
H20. 4. 1	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	長 野 克 水	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	池 田 定 充	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	萬 羽 嗣 彦	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	碓 井 欣 一	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	白 川 ナツ子	
	採 用	学務部就職支援室就職支援チーム	山 口 文 雄	
	特別支援教育事業推進コーディネーター			
H20. 3. 31	退 職	（平成20年3月30日限り）	伊 藤 勇 夫	特別支援教育実践研究センター
H20. 4. 1	採 用	特別支援教育実践研究センター	嶋 田 沙 織	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H20.3.28	心理相談員 退 職	(平成20年3月27日限り)	稲 見 康 明	(大学院学校教育研究科)

〔備考〕

- 平成20年4月1日から、学校教育総合研究センター、保健管理センター、情報基盤センター、実技教育研究指導センター及び特別支援教育実践研究センター所属の大学教員は大学院学校教育研究科所属となりましたが、一覧への掲載は省略しました。
- 平成20年4月1日から大学教員（特任教員を除く）の組織は学系へ変更となりましたが、昇任、採用者を除き同様に掲載を省略しました。

○学内委員会等委員

教育研究評議会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 泰樹	学校教育実践研究センター長	---		
林 泰成	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
齋藤 一雄	特別支援教育コース長	---		
加藤 雅啓	言語系コース長	---		
鈴木 敏紀	社会系コース長	---		
中川 仁	自然系コース長	---		
池田 操	芸術系コース長	---		
伊藤 政展	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
溝上 武實	連合研究科副研究科長	---		
霜越 隆晴	財務課長	---		
布川 和彦	学長指名	教授	20.4.1~21.3.31	

以上15名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
川崎 直哉	副学長	---		
若井 彌一	附属図書館長	---		
加藤 泰樹	学校教育実践研究センター長	---		
南部 昌敏	情報メディア教育支援センター長	---		
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
野村眞木夫	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
西村 俊夫	芸術・体育教育学系長	---		
林 泰成	学校臨床研究コース長	---		
内田 一成	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
齋藤 一雄	特別支援教育コース長	---		
加藤 雅啓	言語系コース長	---		
鈴木 敏紀	社会系コース長	---		
中川 仁	自然系コース長	---		
池田 操	芸術系コース長	---		
伊藤 政展	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

教員養成カリキュラム委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
林 泰成	教授	---	20.4.1~22.3.31	
丸山 良平	教授	---	20.4.1~22.3.31	
五百川 裕	准教授	---	20.4.1~22.3.31	
釜田 聡	准教授	---	20.4.1~22.3.31	
佐久間亜紀	准教授	---	20.4.1~21.3.31	
中山勘次郎	准教授	---	20.4.1~22.3.31	
松沢 要一	准教授	---	20.4.1~22.3.31	
齋藤 一雄	教授	---	20.4.1~22.3.31	
佐藤 芳徳	教授	---	20.4.1~22.3.31	
押木 秀樹	准教授	---	20.4.1~22.3.31	
小林 辰至	教授	---	20.4.1~22.3.31	
直原 幹	教授	---	20.4.1~22.3.31	
阿部 靖子	教授	---	20.4.1~22.3.31	

以上14名

教育研究評議会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
内藤 美加	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
松本 健義	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
鈴木 情一	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	20.4.1~21.3.31	
大庭 重治	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	20.4.1~21.3.31	
小埜 裕二	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1~22.3.31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
赤羽 孝之	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
西山 保子	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
高石 次郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
平野 俊介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
佐光 恵子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
松本 修	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1~22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		
草間 忠明	教育支援課長	---		

以上20名

教育研究評議会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
五百川 裕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	20.4.1～22.3.31	
大山美和子	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	20.4.1～21.3.31	
道城 裕貴	学校教育専攻 特別支援教育コース	助教	20.4.1～21.3.31	
前川 利広	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
松田 慎也	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	20.4.1～21.3.31	
溝上 武實	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
洞谷亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1～21.3.31	
土田 了輔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1～21.3.31	
松本 修	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース, 学校経営 リーダーコース	教授	20.4.1～22.3.31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	准教授	20.4.1～22.3.31	
伊佐 貢一	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.4.1～22.3.31	
佐藤 佐敏	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.4.1～22.3.31	
古閑 晶子	学校教育実践研究センター	特任准教授	20.4.1～22.3.31	
西澤可江子	附属幼稚園副園長	---		
柳 恒雄	附属小学校副校長	---		
廣川 正文	附属中学校副校長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
草間 忠明	教育支援課長	---		
小林 辰至	学長指名	教授	20.4.1～21.3.31	委員長
齋藤 一雄	学長指名	教授	20.4.1～21.3.31	
木村 吉彦	学長指名	准教授	20.4.1～21.3.31	

以上22名

教育研究評議会に置かれる委員会

学生委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大前 敦巳	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1～21.3.31	
両角 達男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
井沢功一朗	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	20.4.1～21.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	講師	20.4.1～21.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	20.4.1～22.3.31	
加藤 雅啓	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1～21.3.31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
志村 喬	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	20.4.1～21.3.31	
室谷 利夫	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1～21.3.31	
谷川 智幸	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	20.4.1～22.3.31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
西村 俊夫	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.1～21.3.31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1～21.3.31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1～22.3.31	
清水 富弘	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1～21.3.31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1～22.3.31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
木村 義徳	学生支援課長	---		
川村 知行	学長指名	教授	20.4.1～21.3.31	委員長

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

就職委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
梅野 正信	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	20.4.1~22.3.31	
橋本 定男	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
高橋 靖子	学校教育専攻 臨床心理学コース	助教	20.4.1~21.3.31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	20.4.1~21.3.31	
平野 絹枝	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	20.4.1~22.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	20.4.1~22.3.31	
下村 義夫	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
大森 康正	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1~22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		
西條江美子	就職支援室長	---		
藤岡 達也	学長指名	教授	20.4.1~21.3.31	委員長

以上17名

教育研究評議会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
高田喜久司	副学長	---		委員長
井上 久祥	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
中山勘次郎	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	20.4.1~21.3.31	
葉石 光一	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	20.4.1~21.3.31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	20.4.1~21.3.31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
森 博	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	20.4.1~22.3.31	
小川 茂	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	20.4.1~22.3.31	
茂手木潔子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	20.4.1~22.3.31	
立屋敷かおる	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
細江 容子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1~22.3.31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	20.4.1~21.3.31	
大橋奈希左	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	20.4.1~21.3.31	
若井 彌一	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1~22.3.31	
上野 光博	保健管理センター所長	---		
川崎 直哉	教務委員会委員長	---		
戸北 凱惟	国際交流推進室長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
渡辺 明弘	入試課長	---		
南部 昌敏	学長指名	教授	20.4.1~21.3.31	

以上24名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
高田喜久司	理事	---		委員長
増井 三夫	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
野村眞木夫	人文・社会教育学系長	---		
立屋敷かおる	自然・生活教育学系長	---		
西村 俊夫	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
下西善三郎	附属中学校長	---	20.4.1~21.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	副学長	---		委員長
加藤 泰樹	学校教育実践研究センター長	---		
小林 恵	学校教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
内田 一成	臨床・健康教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
野村眞木夫	人文・社会教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
岩崎 浩	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
阿部 靖子	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
朝倉 啓爾	学校教育専攻	教授	20.4.1~22.3.31	
石濱 博之	教科・領域教育専攻	准教授	20.4.1~22.3.31	
小林 辰至	教育実践高度化専攻	教授	20.4.1~22.3.31	
後藤 丹	附属幼稚園長	---	20.4.1~21.3.31	
新宅 鉄衛	事務局長	---		
中道 公壽	学務部長	---		
田中 敏	学長指名	学長特別補佐	20.4.1~21.3.31	
西村 俊夫	学長指名	教授	20.4.1~21.3.31	

以上15名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
角谷 詩織	学校教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
佐藤 淳一	臨床・健康教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
中里 理子	人文・社会教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
大場 孝信	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
市川 真澄	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
釜田 聡	学校教育実践研究センター	准教授	20.4.1~22.3.31	
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授	20.4.1~22.3.31	
西澤 可江子	附属幼稚園副園長	---	20.4.1~21.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		

以上11名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
五百川 裕	学校教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
高野 浩志	学校教育学系	講師	20.4.1~22.3.31	
佐光 恵子	臨床・健康教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
藤井 和子	臨床・健康教育学系	講師	20.4.1~22.3.31	
押木 秀樹	人文・社会教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
小島 伸之	人文・社会教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
高津戸 秀	自然・生活教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
大森 康正	自然・生活教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
福岡 奉彦	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
清水 富弘	芸術・体育教育学系	准教授	20.4.1~22.3.31	
下西善三郎	附属中学校長	---	19.4.1~21.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		
山崎 貞登	学長指名	教授	20.4.1~21.3.31	委員長

以上14名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	20.4.1~22.3.31	
若井 彌一	人文・社会科学分野	教授	20.4.1~22.3.31	
下村 義夫	自然科学分野	教授	20.4.1~22.3.31	
光永伸一郎	自然科学分野	准教授	20.4.1~22.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	20.4.1~22.3.31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	20.4.1~22.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	20.4.1~22.3.31	

以上8名

法人に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
高田喜久司	副学長	---		委員長
戸北 凱惟	学術研究委員会委員長	---		
荻原 克男	学校教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
我妻 敏博	臨床・健康教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
藤澤 郁夫	人文・社会教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
天野 和孝	自然・生活教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
峯岸 創	芸術・体育教育学系	教授	20.4.1~22.3.31	
高橋 幸知	学外有識者	---	20.4.1~21.3.31	

以上8名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
戸北 凱惟	副学長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
有澤俊太郎	教科・領域教育専攻長	---		
小林 辰至	教育実践高度化専攻長	---		
後藤 丹	附属幼稚園長	---		
佐藤 芳徳	附属小学校長	---		
下西善三郎	附属中学校長	---		
西澤可江子	附属幼稚園副園長	---		
柳 恒雄	附属小学校副校長	---		
廣川 正文	附属中学校副校長	---		
新宅 鉄衛	事務局長	---		

以上11名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
若井 彌一	附属図書館長	---		委員長
藤岡 達也	学校教育専攻長	---		
有澤俊太郎	教科・領域教育専攻長	---		
小林 辰至	教育実践高度化専攻長	---		
室橋 眞	学術情報課長	---		

以上5名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
川村 知行	学生委員会委員長	---		
田島 弘司	学校教育専攻	准教授	20.4.1~21.3.31	
森川 鐵朗	教科・領域教育専攻	教授	20.4.1~21.3.31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	准教授	20.4.1~22.3.31	
新宅 鉄衛	総務部長事務取扱	---		
中道 公壽	学務部長	---		
五十嵐透子	学長指名	准教授	20.4.1~21.3.31	

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	講師		
道城 裕貴	特別支援教育実践研究センター	助教		
齋藤 一雄	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	20.4.1~22.3.31	
宮下 敏恵	心理教育相談室	准教授	20.4.1~22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
内田 一成	心理教育相談室相談員	教授		
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	准教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	准教授		
佐藤 淳一	心理教育相談室相談員	准教授		
高橋 靖子	心理教育相談室相談員	助教		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授	20.4.1~22.3.31	
中道 公壽	学務部長	---		

以上9名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
渡邊 隆	学長	---	委員長	小笠 裕二	言語系教育連合講座	教授	
高田喜久司	副学長	---		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
戸北 凱惟	副学長	---		下西善三郎	言語系教育連合講座	教授	
川崎 直哉	副学長	---		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
荻原 克男	学校教育方法連合講座	教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座	教授	
南部 昌敏	学校教育方法連合講座	教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
増井 三夫	学校教育方法連合講座	教授		前川 利広	言語系教育連合講座	教授	
若井 彌一	学校教育方法連合講座	教授		松本 修	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	准教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	准教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	准教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	准教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	准教授		赤羽 孝之	社会系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	准教授		佐藤 芳徳	社会系教育連合講座	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		山本 友和	社会系教育連合講座	教授	
内田 一成	学校教育臨床連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	准教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	准教授	
大山美和子	学校教育臨床連合講座	教授		志村 喬	社会系教育連合講座	准教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	准教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	准教授	
鈴木 情一	学校教育臨床連合講座	教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	
林 泰成	学校教育臨床連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
丸山 良平	学校教育臨床連合講座	教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	准教授		中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	准教授		中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	准教授		西川 純	自然系教育連合講座	教授	
有澤俊太郎	言語系教育連合講座	教授		西山 保子	自然系教育連合講座	教授	

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
藤岡 達也	自然系教育連合講座	教授	
溝上 武實	自然系教育連合講座	教授	
室谷 利夫	自然系教育連合講座	教授	
森 博	自然系教育連合講座	教授	
森川 鐵朗	自然系教育連合講座	教授	
小川 茂	自然系教育連合講座	准教授	
谷川 智幸	自然系教育連合講座	准教授	
庭野 義英	自然系教育連合講座	准教授	
池田 操	芸術系教育連合講座	教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
西村 俊夫	芸術系教育連合講座	教授	
茂手木潔子	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	准教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	准教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	准教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
伊藤 政展	生活・健康系教育連合講座	教授	
下村 義夫	生活・健康系教育連合講座	教授	
立屋敷かおる	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
清水 富弘	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上74名

○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
監 事 (非常勤)	はせがわ あきら 長谷川 彰	平成20年4月1日 ～平成22年3月31日	昭和41年 4月 東北大学理学部助手 昭和55年 1月 新潟大学教養部助教授 昭和60年10月 新潟大学教養部教授 平成 6年 4月 新潟大学理学部教授 平成 9年 4月 新潟大学理学部長 平成14年 2月 新潟大学長 平成16年 4月 国立大学法人新潟大学長 (～平成20年1月) 平成20年 1月 財団法人新潟県文化振興財団理事長 (～現在に至る)
監 事 (非常勤)	おおはら けいすけ 大 原 啓 資	平成20年4月1日 ～平成22年3月31日	昭和56年 4月 富士鉄鋼資材株式会社 昭和59年 9月 大久保公認会計士事務所 昭和62年10月 太田昭和監査法人 (現 新日本監査法人) 平成 4年 9月 大原会計事務所長 平成16年 4月 国立大学法人上越教育大学監事

一般通報事項

○役員会

■第41回役員会

期 日 平成20年3月21日（金）

議 題

- 1 平成20年度年度計画
- 2 新職の配置等に伴う給与改定
- 3 平成19年度学内補正予算
- 4 平成20年度学内予算
- 5 国立大学法人上越教育大学会計規則の一部改正
- 6 国立大学法人上越教育大学における授業料その他の費用に関する規程の一部改正
- 7 国立大学法人上越教育大学余裕金運用取扱細則の制定
- 8 環境物品等の調達を推進を図るための方針
- 9 平成20年度における学内自己点検・評価実施計画
- 10 新教員組織の編成及びセンター等の再編に伴うセンター等管理運営規則等の整備

■第42回役員会

期 日 平成20年4月18日（金）

議 題

- 1 会計監査人候補者の選定

○教育研究評議会

■第60回教育研究評議会

期 日 平成20年3月12日（水）

議 題

- 1 平成20年度年度計画
- 2 教員人事
- 3 教員選考委員会委員の構成員等について
- 4 新教員組織の編成及びセンター等の再編に伴うセンター等管理運営規則等の整備
- 5 上越教育大学学位規則の一部改正
- 6 上越教育大学教育実習委員会規程の一部改正
- 7 上越教育大学教育課程の編成方針の一部改正
- 8 国立大学法人上越教育大学情報セキュリティポリシーの一部改正
- 9 平成20年度各種競争的資金（G P関係）の申請取組
- 10 平成20年度における学内自己点検・評価実施計画

■第61回教育研究評議会

期 日 平成20年3月21日（金）

議 題

- 1 教員人事
- 2 教員選考委員会委員の構成員等について
- 3 国立大学法人上越教育大学教員任期規程等の一部改正
- 4 平成20年度上越教育大学における教育研究活動等への助成金事業計画
- 5 大学院アドミッション・ポリシーの一部改正

■第62回教育研究評議会

期 日 平成20年4月9日（水）

議 題

- 1 教員選考委員会委員の構成員等について
- 2 教育研究評議会に置かれる委員会委員の委嘱
- 3 学長選考会議委員の選出
- 4 特任教員の教授会等への参加について
- 5 上越教育大学教員免許状更新講習実施委員会の設置
- 6 上越教育大学特別支援教育実践研究センター規則の一部改正
- 7 受託研究の受入れ

○経営協議会

■第18回経営協議会

期 日 平成20年3月13日（木）

協議題

- 1 平成19年度学内補正予算
- 2 平成20年度年度計画
- 3 平成20年度学内予算
- 4 新職の配置等に伴う給与改定
- 5 国立大学法人上越教育大会計規則の一部改正
- 6 国立大学法人上越教育大学における授業料その他の費用に関する規程の一部改正
- 7 国立大学法人上越教育大学余裕金運用取扱細則の制定
- 8 平成20年度における学内自己点検・評価実施計画
- 9 役員等の選考
- 10 大学院入学者選抜試験実施状況
- 11 国立大学の学部における定員超過の抑制

○教授会

■第72回教授会

期 日 平成20年 3月10日（月）

議 題

- 1 教員人事
- 2 平成20年度大学院入学者選抜試験（第2次募集）合格者の判定
- 3 平成20年度教育職員免許取得プログラム受講生の受入れ
- 4 平成19年度学部卒業判定
- 5 平成19年度大学院修了判定
- 6 既修得単位の認定
- 7 研究生の受入れ等
- 8 科目等履修生の受入れ等

■第73回教授会

期 日 平成20年 3月21日（金）

議 題

- 1 教員人事
- 2 教員選考委員会委員の構成員等について
- 3 平成20年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）合格者の判定
- 4 平成20年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）追加合格者の決定
- 5 平成20年度欠員補充第2次学生募集及び合格者の判定
- 6 平成21年度大学院学生募集要項
- 7 学籍異動

■第74回教授会

期 日 平成20年 4月23日（水）

議 題

- 1 教員選考委員会委員の構成員等について
- 2 教員人事
- 3 名誉教授の推薦

○退職者永年勤続表彰状授与式

平成20年 3月31日付け本学退職者の永年勤続表彰状授与式が 3月17日（月）に行われた。

被表彰者には表彰状が授与され、併せて記念品が贈呈された。

永年勤続被表彰者は次のとおりである。

中野 靖夫 教授

大嶽 幸彦 教授

平野 七濤 教授
田中 芳一 副課長
池田 健助 主査

○叙位・叙勲

平成20年春の叙勲で、加藤章理事（本学元学長，名誉教授）及び細谷直樹名誉教授に対し，両氏の功績により瑞宝中綬章が下賜された。

また，平成20年2月17日に死去された菅野 三郎名誉教授に対し，同氏の生前の功績により，従四位に叙された。

○ファカルティ・ディベロップメント研修会

本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため，ファカルティ・ディベロップメント研修会を3月4日(火)に実施した。

大学評価委員会ファカルティ・ディベロップメント専門部会による平成19年度の活動等の報告及び公開授業担当教員による結果報告の後，『授業の方法』をテーマに授業実践例の紹介・パネルディスカッションが行われた。



○公開講座・免許法認定公開講座

平成20年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
少年少女スポーツ教室Ⅰ (山屋敷サッカークラブ中学生)	中学に入学したばかりで、サッカーの試合を楽しむ機会の少ない中学1年生のためのサッカー教室です。サッカーだけでなく勉強の質問や相談も受け付けます。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。	榊原 潔 准教授	4月6日(日) 4月13日(日) 4月19日(土) 4月20日(日) 4月27日(日) 5回	13:00 } 15:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	中級 中学生 25人 最小実施 人数11人
小学生ものづくり教室(ちゃぶ台をつくらう)	小学校5,6年生のためのものづくり教室です。 のこぎり、さしがね、げんのう等の道具の使い方を学び、木材で楽しく、ちゃぶ台をつくります。完成した作品は持ち帰ることができます。	東原 貴志 准教授	4月12日(土) } 5月17日(土) 5月3日(土) を除く 毎週土曜日 5回 学校行事の場合、後日振替実施します	9:00 } 12:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	入門 小学5,6 生 最小実施 人数20人
ピアノ入門	初級でも演奏できる名曲にチャレンジしてみよう。	平野 俊介 准教授	4月16日(水) } 6月4日(水) 4月30日を除く 毎週水曜日 7回	17:30 } 19:30 計14時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 5人 最小実施 人数1人
中・高校生のための声楽講座	発声の基礎からイタリア古典歌曲までを集団及び個人レッスンの形で学びます。対象は声楽の得意な人だけでなく、苦手な人、興味のある人などどなたでも歓迎します。	上野 正人 准教授	4月19日(土) } 6月28日(土) 5月3日(土) を除く 毎週土曜日 10回	10:20 } 11:50 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 中学生及び 高校生 4人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
はじめての短歌－実作短歌入門	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と尻込みする人も少なくないと思います。でも、そんなことはありません。講座では、作歌の勉強も兼ねて、古今の名歌等の鑑賞も予定していますが、自己表現を学ぶことを通じて、鑑賞にもきっと新しい視界が開けてくることでしょう。	松田 慎也 教授	5月13日(火)) 7月15日(火) 毎週火曜日 10回	19:00) 20:30 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人
体操教室 I	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。 めざせ！宙返り。	周東 和好 講師	5月17日(土)) 6月21日(土) 毎週土曜日 6回	14:00) 16:00 計12時間	本学 (山屋敷町)	小学生 1～6年生 20人 最小実施人数 1人
特別支援教育における個別の指導計画の作成法と活用 法 I ※	特別支援教育推進の現状や学習指導要領の基本方針について概説するとともに、特別な教育的ニーズに対応する自立活動の目標・内容や個別の指導計画作成の意義・方法について論じます。その上で、特別な支援を必要としている子どものビデオを用いて個別の指導計画を実際に試作していただき、授業への生かし方と具体的な評価の方法について考究します。個別の教育支援計画策定についてもふれる予定です。注1	藤井 和子 講師	5月31日(土) 6月14日(土) 6月21日(土) 3回	10:00) 16:00 (昼食休憩 1時間) 計15時間	本学 (山屋敷町)	(基礎グループ) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
特別支援教育における個別の指導計画の作成法と活用 法Ⅱ ※	特別支援教育推進の現状や学習指導要領の基本方針等について概説するとともに、特別な教育的ニーズに対応する自立活動の目標・内容や個別の指導計画作成の意義・方法について論じます。その上で、受講者ご自身に学級等で担当されている児童生徒を対象とした個別の指導計画を実際に作成していただき、その授業への生かし方と具体的な評価の方法について考究します。個別の教育支援計画策定についてもふれる予定です。注2	笠原 芳隆 准教授	5月31日(土) 6月14日(土) 6月21日(土) 3回	10:00) 16:00 (昼食休憩 1時間) 計15時間	本学 (山屋敷町)	(実践グループ) 現職教員 最小実施 人数10人
中・上級者のための陶芸	すでに陶芸をやられていて、更なる技術や作品の向上を目指す方を対象にします。従って、内容は受講生の要望に合わせて相談の上決めていきます。(例:作品の創造, 加飾技術, 成形技術, 焼成技術など)	高石 次郎 准教授	6月3日(火)) 7月1日(火) 毎週火曜日 5回	17:00) 19:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	中・上級 市民一般 10人 最小実施 人数3人
少年少女スポーツ教室Ⅲ (山屋敷サッカークラブ低学年)	小学校3年生以下の子どものためのサッカー教室です。マット, 鉄棒, 跳び箱, 縄跳び, エクササイズボールなどを用いて様々なスポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。また, ボールを扱うテクニックの練習や試合を行います。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は, あらかじめお問い合わせ下さい。	榑原 潔 准教授	7月27日(日) 7月28日(月) 7月30日(水) 8月1日(金) 8月25日(月) 8月27日(水) 8月29日(金) 7回	9:00) 11:00 計14時間	本学 (山屋敷町)	初級 小学生 15人 最小実施 人数6人
応用行動分析で特別支援教育が変わるⅡ ※	近年, 特別支援教育を中心として, 応用行動分析に基づく教育実践の成果が大きな注目を集めています。本講座では, 応用行動分析の基本的な理論と枠組みの理解, アセスメント(行動観察など)の手法や基礎的な指導技法の習得, 客観的データに基づく授業改善や学校コンサルテーションへの活用を目指します。注3	加藤 哲文 教授 村中 智彦 講師	7月31日(木) 8月1日(金) 8月2日(土) 3回	10:00) 16:00 (昼食休憩 1時間) 計15時間	埼玉県 さいたま市 本学大宮サ テライト	初級 現職教員 20人 最小実施 人数5人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
モラルスキルトレーニング入門～道德授業で仲間づくり・学級づくり～	「モラルスキルトレーニング」とは、上越教育大学道德教育研究室の提案する新しい道德授業のプログラムです。道徳性の育成と人間関係スキルの獲得を目指します。道徳の時間だけでなく学級活動でも活用できます。この「モラルスキルトレーニング」を、参加体験型の研修スタイルでご紹介します。市販本では小学校におけるプログラムが紹介されていますが、本講座では中学校版も取り上げます。	林 泰成 教授	① 8月4日(月) ② 8月5日(火) ③ 8月6日(水) 3回	① 13:00～17:00 ② 9:30～12:00 13:00～17:00 ③ 9:30～12:00 13:00～15:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級 現職教員 30人 最小実施 人数5人
とっても簡単！だれでもできる食べもの実験	身のまわりの食べものを使った実験を行う。いずれの実験も、特別な知識や技能を必要としない簡単なものとする。食べものに含まれる栄養素や添加物を分析したり、調理の仕組みについて調べたりする。実験を通して、食に対する知的好奇心を喚起させるのが、本講座の目的である。	光永伸一郎 准教授 松倉久枝(学 外講師：管 理栄養士)	① 8月20日(水) ② 8月21日(木) ③ 8月22日(金) 3回	① 13:00～17:00 ② 13:00～16:00 ③ 13:00～16:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	初級 小学生 5・6年生 10人 最小実施 人数3人
円周率 π を計算する	人類は何千年も前から円周率を求めようとしてきた。円周率の計算について、アルキメデス、和算家、インド、ガウスの方法を紹介する。彼らの計算の追体験を通して、人類の知的活動の歴史を鑑賞する。	中川 仁 教授	9月3日(水) } 10月1日(水) 毎週水曜日 5回	19:00 } 20:30 計7.5時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人 最小実施 人数5人
「小学校英語」進め方入門	『だれでもできる』『ためになる』『楽しい』小学校英語の授業づくりをねらいとします。その内容は、理論編と実践編を組み合わせた内容です。具体的に、小学校英語のねらいや意義、カリキュラムデザイン、授業の枠組みの作り方、ゲームの活動、歌の活動、教材・教具、授業展開事例、評価の考え方と方法、教室英語などの概要を提供いたします。	石濱 博之 准教授	9月12日(金) 9月26日(金) 10月10日(金) 10月24日(金) 11月7日(金) 11月14日(金) 6回	18:30 } 20:00 計9時間	本学 (山屋敷町)	現職教員 市民一般 15人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
体操教室Ⅱ	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。 めざせ！宙返り。	周東 和好 講師	10月4日(土)) 11月15日(土) 11月1日(土) を除く毎週土 曜日6回	14:00) 16:00 計12時間	本学 (山屋敷町)	小学生 1～6年生 20人 最小実施 人数1人
陶芸…器とピザを作って焼いて食べる	陶芸で皿とマグカップを作ります。その後、生地から作ったピザを焼いて自分の作った器を使って昼食会を開きます。 *ピザの材料費は別途	高石 次郎 准教授	① 10月25日(土) ② 11月8日(土) ③ 11月15日(土) 3回	① 13:00～17:00 ② 13:00～16:00 ③ 10:00～13:00 計10時間	本学 (山屋敷町)	初級 市民一般 20人 最小実施 人数10人
少年少女スポーツ教室Ⅱ (山屋敷フットサルクラブ中学生)	中学生のためのフットサル教室です。 受講者はチームに分かれて練習と試合を行います。 勉強の質問や相談も受け付けます。 実施場所までの交通手段が確保できない受講希望者は、あらかじめお問い合わせ下さい。	榊原 潔 准教授	11月15日(土) 11月23日(日) 11月29日(土) 12月6日(土) 12月13日(土) 12月23日(火・祝日) 6回	18:00) 19:30 計9時間	本学 (山屋敷町)	中級 中学生 25人 最小実施 人数11人
理科野外観察指導実習A ※	実習の場を林と池とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察し、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月9日(土) 8月10日(日)	9:00) 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察指導実習B ※	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	9月8日(月) 9月9日(火)	9:00) 17:00 計15時間	志賀高原	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習C ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とする。	中村 雅彦 教授	8月18日(月) 8月19日(火)	9:00 } 17:00 計15時間	正善寺川	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)についてそのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導する。走査電子顕微鏡、蛍光顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行う。	小川 茂 准教授	8月27日(水) 8月28日(木)	9:00 } 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習E ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、畑地や空き地、雑木林や杉林を観察場所とした実習を通して学ぶ。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざす。	森田 龍義 (新潟大学 教授)	9月1日(月) 9月2日(火)	9:00 } 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められている。本実習では地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討する。	天野 和孝 教授	8月11日(月) 8月12日(火)	9:00 } 17:00 計15時間	上越市平山 ~中ノ俣 上越市谷浜 ~大淵	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習G ※	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察をおこなう。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を習得させる。また火山災害についての安全対策を現地で実際に学ぶ。	大場 孝信 准教授	8月25日(月) 8月26日(火)	9:00 } 17:00 計15時間	妙高・糸魚 川	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習H ※	1泊2日の日程で気象観測実習を行う。小・中学校のカリキュラムに出てくる、太陽の日周運動、気温と湿度の日変化、雲形・雲量、海風循環等の現象を対象とした独自の観測結果をインターネット上に公開される気象情報と比較しながら、現象の理解や説明の方法等を習得させる。	中川 清隆 (立正大学教授)	6月7日(土) 6月8日(日)	9:00 ~ 17:00 計15時間	本学 (山屋敷町)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I ※	1泊2日の日程で暖候季の星夜観測実習を実施する。小学校4年理科および中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動および星夜観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら体得させる。	宮本 昌典 (国立天文台 名誉教授)	8月30日(土) 8月31日(日)	9:00 ~ 17:00 計15時間	星のふるさと館(清里区)	初級・中級 市民一般 現職教員 10人

理科野外観察指導実習Jは、今年度休講いたします。

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	准教授	五十嵐 透子	アメリカ	workshop参加, ミーティング	平成20年3月1日～ 平成20年3月12日	外国出張
2	准教授	田島 弘司	中国	北京師範大学附属学校におけるアンケート調査の実施, 附属小中学校の視察	平成20年3月8日～ 平成20年3月14日	外国出張
3	准教授	釜田 聡	中国	教員養成システムに関する現地調査及び教師教育に関する資料収集	平成20年3月11日～ 平成20年3月15日	外国出張
4	准教授	浅野 秀之	中国	教員養成システムに関する現地調査及び教師教育に関する資料収集	平成20年3月11日～ 平成20年3月15日	外国出張
5	准教授	古閑 晶子	中国	教員養成システムに関する現地調査及び教師教育に関する資料収集	平成20年3月11日～ 平成20年3月15日	外国出張
6	准教授	角谷 詩織	アメリカ	平成19年度海外との研究交流(国際学会参加)	平成20年3月23日～ 平成20年3月27日	外国出張
7	准教授	細江 容子	中国	高齢者イメージの調査打合せ及び研究・調査並びに生活経営と家庭科教育に関する研究打合せ	平成20年3月23日～ 平成20年3月28日	外国出張
8	教授	茂手木 潔子	アメリカ	ピーホーディ・エックス博物館及びホスト美術館におけるE. S. モーション、ビゴークレクションの日本音楽関係資料悉皆調査	平成20年3月23日～ 平成20年4月6日	海外研修
9	学長特別補佐	白杵 美由紀	オーストラリア	西オーストラリア教育省, 西オーストラリア等の大学の調査及び情報収集	平成20年3月26日～ 平成20年3月29日	外国出張
10	准教授	志村 喬	イギリス	イギリス地理学協会大会参加	平成20年3月26日～ 平成20年3月31日	外国出張
11	教授	川村 知行	中国	異文化理解に関する資料収集	平成20年3月26日～ 平成20年4月5日	外国出張
12	准教授	庭野 義英	アメリカ	アメリカ理科教育史研究、環境保護思想史研究の打合せ及び文献収集	平成20年3月27日～ 平成20年4月4日	海外研修
13	准教授	土田 了輔	アメリカ	学会発表	平成20年4月8日～ 平成20年4月12日	海外研修
14	教授	若井 彌一	中国	第2回ISQSTシンポジウム講演	平成20年4月15日～ 平成20年4月18日	外国出張
15	国際交流チーム主査	伊藤 孝之	韓国	「海外教育(特別)研究C」授業の引率	平成20年4月29日～ 平成20年5月11日	外国出張
16	教授	加藤 泰樹	韓国	「海外教育(特別)研究C」授業の引率	平成20年4月29日～ 平成20年5月11日	外国出張

○平成20年度学校教育学部入学者選抜試験状況

()内は女子で内数

区分	推薦による選抜 (募集人員 50人)				個別学力検査等による選抜 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別選抜 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道																
青森県	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1	2	2	2						(2) 4	(2) 4	(1) 3	(1) 1
岩手県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
宮城県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
秋田県	(1) 1	(1) 1			(2) 4	(1) 3	1						(3) 5	(2) 4	1	
山形県	(1) 3	(1) 3	1	1	(1) 3	(1) 3							(2) 6	(2) 6	1	1
福島県	3	3	3	3	(4) 13	(4) 11	(2) 5	(2) 5					(4) 16	(4) 14	(2) 8	(2) 8
茨城県					1	1	1	1					1	1	1	1
栃木県	(2) 3	(2) 3	(1) 2	(1) 2	(8) 22	(7) 20	(1) 5	(1) 4					(10) 25	(9) 23	(2) 7	(2) 6
群馬県					(8) 10	(8) 10	(3) 3	(3) 3					(8) 10	(8) 10	(3) 3	(3) 3
埼玉県					(4) 7	(4) 7	(1) 1	(1) 1					(4) 7	(4) 7	(1) 1	(1) 1
千葉県																
東京都					(1) 3	(1) 3	1						(1) 3	(1) 3	1	
神奈川県					(1) 2	(1) 2	(1) 2	1					(1) 2	(1) 2	(1) 2	1
新潟県	(31) 44	(31) 44	(14) 20	(14) 20	(132) 219	(119) 200	(27) 50	(24) 44					(163) 263	(150) 244	(41) 70	(38) 64
富山県	(6) 8	(6) 8	(4) 5	(4) 5	(10) 17	(8) 15	(4) 7	(4) 7					(16) 25	(14) 23	(8) 12	(8) 12
石川県	(13) 15	(11) 13	(4) 5	(4) 5	(28) 47	(25) 43	(10) 17	(7) 14					(41) 62	(36) 56	(14) 22	(11) 19
福井県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(7) 15	(7) 15	(4) 9	(4) 9					(8) 16	(8) 16	(5) 10	(5) 10
山梨県	(1) 3	(1) 3	2	2	(2) 5	(2) 4	(1) 1						(3) 8	(3) 7	(1) 3	2
長野県	(22) 28	(22) 28	(6) 7	(6) 7	(67) 99	(61) 91	(11) 18	(9) 14					(89) 127	(83) 119	(17) 25	(15) 21
岐阜県	(1) 1	(1) 1			(3) 3	(3) 3	(1) 1	(1) 1					(4) 4	(4) 4	(1) 1	(1) 1
静岡県	(1) 2	(1) 2	1	1	(7) 16	(7) 16	(1) 5	(1) 2					(8) 18	(8) 18	(1) 6	(1) 3
愛知県	(1) 2	(1) 2	1	1	(2) 17	(2) 16	(1) 9	(1) 6					(3) 19	(3) 18	(1) 10	(1) 7
三重県					1	1	1						1	1	1	
滋賀県					4	4	1	1					4	4	1	1
京都府					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
大阪府																
兵庫県					(3) 7	(3) 7	1						(3) 7	(3) 7	1	
奈良県					1	1							1	1		
和歌山県					1	1	1	1					1	1	1	1
鳥取県																
島根県																
岡山県	1	1											1	1		
広島県																
山口県																
徳島県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1							(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県					1	1							1	1		
佐賀県																
長崎県					(1) 2	(1) 2	1						(1) 2	(1) 2	1	
熊本県																
大分県																
宮崎県					1	1	1						1	1	1	
鹿児島県																
沖縄県																
その他					1	1	1	1					1	1	1	1
計	(84) 118	(82) 116	(32) 50	(32) 50	(294) 528	(268) 488	(68) 145	(58) 115					(378) 646	(350) 604	(100) 195	(90) 165
		応募者/合格者 2.4倍	男 36.0% 女 64.0%			応募者/合格者 3.6倍	男 49.6% 女 50.4%						応募者/合格者 3.3倍	男 45.5% 女 54.5%		

※ その他1人は、大学入学資格検定

○平成20年度 大学院学校教育研究科入学者選抜試験状況

■専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:19.8.25)					中期募集 (試験日:19.11.23)					後期募集・教職大学院 (試験日:20.1.12)					第2次募集 (試験日:20.3.5)					教職大学院追加募集 (試験日:20.3.25)					合計							
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者			
修士課程	学校教育専攻	70	(29) 134	(29) 132	(29) 88	(27) 64	19	(6) 64	(6) 62	(6) 32	(2) 24	若干人	19	16	9	7	若干人											88	(35) 217	(35) 210	(35) 129	(29) 95		
	学習臨床コース	30	(9) 31	(9) 30	(9) 29	(9) 23	11	(4) 22	(4) 22	(4) 20	(2) 17	若干人	4	4	3	2	若干人											40	(13) 57	(13) 56	(13) 52	(11) 42		
	発達臨床コース	22	(14) 32	(14) 32	(14) 30	(12) 22	8	(2) 14	(2) 13	(2) 11		7	若干人	7	6	6	5	募集せず										30	(16) 53	(16) 51	(16) 47	(12) 34		
	臨床心理学コース	18	(6) 71	(6) 70	(6) 29	(6) 19	若干人	28	27	1		若干人	8	6			募集せず											18	(6) 107	(6) 103	(6) 30	(6) 19		
	幼児教育専攻	6	7	7	6	3	1	1	1	1	1	若干人					若干人											7	8	8	7	4		
	特別支援教育専攻	20	(12) 39	(12) 38	(12) 30	(11) 24	5	(1) 17	(1) 17	(1) 12		11	若干人	4	4	1	1	募集せず											25	(13) 60	(13) 59	(13) 43	(11) 36	
	教科・領域教育専攻	104	(26) 88	(26) 87	(26) 87	(25) 70	48	(4) 47	(4) 45	(4) 42	(2) 24	20	(1) 25	(1) 25	(1) 22	(1) 21	15	6	6	5	5								130	(31) 166	(31) 163	(31) 156	(28) 120	
	言語系コース	国語	20	8	7	7	5	6	(1) 6	(1) 6	(1) 5	(1) 2	若干人					若干人	1	1									25	(1) 15	(1) 14	(1) 12	(1) 7	
		英語		(4) 12	(4) 12	(4) 12	(3) 7		7	6	6	5		2	2	1	1		2	2	2	2								23	(4) 23	(4) 22	(4) 21	(3) 15
	社会系コース	18	(3) 17	(3) 17	(3) 17	(3) 12	6	11	11	10	6	若干人	5	5	3	3	若干人												23	(3) 33	(3) 33	(3) 30	(3) 21	
	自然系コース	数学	22	(2) 5	(2) 5	(2) 5	(2) 2	16	2	2	1	1	10					10											27	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(2) 3	
		理科		(1) 6	(1) 6	(1) 6	(1) 6		5	5	5	2		3	3	3	2		3	3	3	2								27	(1) 14	(1) 14	(1) 14	(1) 10
	芸術系コース	音楽	22	(5) 9	(5) 9	(5) 9	(5) 9	14	2	2	2	1	10	4	4	4	4	5	1	1	1	1								27	(5) 16	(5) 16	(5) 16	(5) 15
		美術		(3) 4	(3) 4	(3) 4	(3) 4		2	2	2	1		1	1	1	1													27	(3) 7	(3) 7	(3) 7	(3) 6
	生活・健康系コース	保健体育	22	(6) 20	(6) 20	(6) 20	(6) 18	6	(1) 5	(1) 4	(1) 4	(1) 3	若干人	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3		1	1	1	1								28	(8) 29	(8) 28	(8) 28	(8) 25
技術			(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3		5	5	5	2		5	5	5	5	若干人												28	(1) 13	(1) 13	(1) 13	(1) 10	
家庭			2	2	2	2							1	1	1	1													28	3	3	3	3	
学校ヘルスケア			(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2		(2) 2	(2) 2	(2) 2	1		1	1	1	1		1	1	1	1									28	(3) 6	(3) 6	(3) 6	(1) 5
小計	200	(67) 268	(67) 264	(67) 211	(63) 161	73	(11) 129	(11) 125	(11) 87	(4) 60	20	(1) 48	(1) 45	(1) 32	(1) 29	15	6	6	5	5								250	(79) 451	(79) 440	(79) 335	(68) 255		
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	(16) 32	(16) 32	(16) 31	(16) 27	18	5	5	5	3	24	2	2	2	2	50	(16) 39	(16) 39	(16) 38	(16) 32				
	教育実践リーダーコース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	(10) 26	(10) 26	(10) 25	(10) 21	4	5	5	5	3	10	2	2	2	2	30	(10) 33	(10) 33	(10) 32	(10) 26				
	学校運営リーダーコース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	(6) 6	(6) 6	(6) 6	(6) 6	14					14					20	(6) 6	(6) 6	(6) 6	(6) 6				
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	(16) 32	(16) 32	(16) 31	(16) 27	18	5	5	5	3	24	2	2	2	2	50	(16) 39	(16) 39	(16) 38	(16) 32				
合計	200	(67) 268	(67) 264	(67) 211	(63) 161	73	(11) 129	(11) 125	(11) 87	(4) 60	70	(17) 80	(17) 77	(17) 63	(17) 56	33	11	11	10	8	24	2	2	2	2	300	(95) 490	(95) 479	(95) 373	(84) 287				

※1 ()内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

2 応募者数は、専攻・コース(分野)ごとに原則として第1志望の人数を計上しているが、第2志望での合格者は合格した専攻・コース(分野)への応募者として計上している。

■都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集・教職大学院				第2次募集				教職大学院追加募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	(3) 8	(3) 8	(3) 7	(2) 6	(1) 4	(1) 4	(1) 3	1													(4) 12	(4) 12	(4) 10	(2) 7
青森県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1															(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1
岩手県	(3) 6	(3) 5	(3) 5	(3) 4																	(3) 6	(3) 5	(3) 5	(3) 4
宮城県	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1					10	10	8	8
秋田県	(2) 8	(2) 8	(2) 5	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					1	1	1	1					(3) 11	(3) 11	(3) 8	(2) 5
山形県																								
福島県	(2) 5	(2) 5	(2) 5	(2) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	3													(3) 8	(3) 8	(3) 8	(2) 6
茨城県	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1											6	6	5	3
栃木県	1	1	1	1	2	2	1	1													3	3	2	2
群馬県	3	3	3	3	(5) 7	(5) 7	(5) 7	(2) 4	(2) 3	(2) 3	(2) 3	(2) 3	1	1	1	1					(7) 14	(7) 14	(7) 14	(4) 11
埼玉県	(3) 22	(3) 22	(3) 18	(3) 14	6	6	5	2	2	2	1		1	1	1	1					(3) 31	(3) 31	(3) 25	(3) 17
千葉県	(2) 7	(2) 7	(2) 7	(2) 5	3	3	2	2	1	1	1	1									(2) 11	(2) 11	(2) 10	(2) 8
東京都	(2) 46	(2) 46	(2) 38	(2) 29	25	24	18	14	18	18	15	12	2	2	2	1	1	1	1	1	(2) 92	(2) 91	(2) 74	(2) 57
神奈川県	8	8	5	3	7	7	3	3	2	2											17	17	8	6
新潟県	(33) 70	(33) 68	(33) 57	(32) 49	(1) 20	(1) 19	(1) 14	10	(14) 29	(14) 29	(14) 28	(14) 26	3	3	3	3					(48) 122	(48) 119	(48) 102	(46) 88
富山県	(2) 8	(2) 7	(2) 6	(2) 2	2	2	1		3	2	2	2									(2) 13	(2) 11	(2) 9	(2) 4
石川県	(2) 14	(2) 14	(2) 11	(2) 9	4	4	4	1	2	2	2	2									(2) 20	(2) 20	(2) 17	(2) 12
福井県	3	3	1	1	1	1															4	4	1	1
山梨県					2	1	1	1													2	1	1	1
長野県	(5) 12	(5) 12	(5) 9	(5) 7	4	4	1	1	3	3											(5) 19	(5) 19	(5) 10	(5) 8
岐阜県	(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 4	2	1			1	1											(2) 7	(2) 6	(2) 4	(2) 4
静岡県	(1) 3	(1) 3	(1) 2	1	(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(3) 6	(3) 6	(3) 4	(2) 3
愛知県	(3) 11	(3) 11	(3) 6	(3) 4	5	5			2	2	2	2									(3) 18	(3) 18	(3) 8	(3) 6
三重県	1	1	1	1																	1	1	1	1
滋賀県	1	1	1																		1	1	1	
京都府	5	5	4	1	5	5	2	2													10	10	6	3
大阪府	2	2	2	2	4	4	4		2	2	2	2									8	8	8	4
兵庫県	3	3	1	1	3	3	2	1					1	1	1						7	7	4	2
奈良県	1	1	1																		1	1	1	
和歌山県																								
鳥取県	1	1	1																		1	1	1	
島根県																								
岡山県																								
広島県					(1) 2	(1) 2	(1) 2	1													(1) 2	(1) 2	(1) 2	1
山口県																								
徳島県																								
香川県																								
愛媛県					1	1	1	1													1	1	1	1
高知県					1	1	1	1													1	1	1	1
福岡県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1																	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
佐賀県																								
長崎県	1	1			1	1			1	1	1										3	3	1	
熊本県																								
大分県																								
宮崎県																								
鹿児島県									1												1			
沖縄県																	1	1	1	1	1	1	1	1
外国	4	4	2	2	6	6	5	5	6	5	3	3	1	1							17	16	10	10
計	(67) 268	(67) 264	(67) 211	(63) 161	(11) 129	(11) 125	(11) 87	(4) 60	(17) 80	(17) 77	(17) 63	(17) 56	11	11	10	8	2	2	2	2	(95) 490	(95) 479	(95) 373	(84) 287

注)1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主要日誌

■大学

月日	事 項
平成20年3月3日 月	留学生スキーのつどい（赤倉観光リゾートスキー場）（～4日(火)） 第17回教務委員会
平成20年3月4日 火	ファカルティ・ディベロップメント研修会
平成20年3月5日 水	平成20年度大学院入学者選抜試験（第2次募集） 第12回衛生委員会
平成20年3月6日 木	第8回評価支援室会議 平成20年度学部入学者選抜個別学力検査等（前期日程）合格者発表
平成20年3月7日 金	第18回教務委員会 第15回入学試験委員会 第6回学術研究委員会
平成20年3月10日 月	第72回教授会 第20回大学改革委員会 第10回教育実習委員会 平成19年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修（3/10～11）
平成20年3月11日 火	第41回大学評価委員会 第9回教員養成カリキュラム委員会 平成20年度大学院入学者選抜試験（第2次募集）合格者発表
平成20年3月12日 水	第60回教育研究評議会 第1回上越教育大学第一種奨学資金返還免除候補者選考委員会
平成20年3月13日 木	2007年度上越教育大学国際交流のつどい 第11回学長選考会議 第18回経営協議会 第8回学生委員会
平成20年3月17日 月	第19回教務委員会 退職者永年勤続表彰状授与式
平成20年3月18日 火	2007年度国費外国人留学生（教員研修留学生）修了証書授与式 第1回研究活動不正行為対策委員会
平成20年3月19日 水	平成19年度学位記授与式，卒業証書・学位記授与式，学生表彰式，修了・卒業祝賀会
平成20年3月21日 金	第41回役員会 第73回教授会 第61回教育研究評議会 第16回入学試験委員会
平成20年3月23日 日	平成20年度学部入学者選抜個別学力検査等（後期日程）合格者発表
平成20年3月25日 火	平成20年度大学院入学者選抜試験（教職大学院追加募集）
平成20年3月26日 水	笑福亭松枝師匠講演会
平成20年3月27日 木	平成20年度大学院入学者選抜試験（教職大学院追加募集）合格者発表
平成20年4月7日 月	第1回国際交流推進室会議
平成20年4月8日 火	平成20年度入学式，平成20年度新入生オリエンテーション（4/8～9） 平成20年度免P受講者オリエンテーション
平成20年4月9日 水	第62回教育研究評議会
平成20年4月10日 木	第1回教育実習委員会、第1回教育実習連絡会
平成20年4月15日 火	第1回教務委員会
平成20年4月16日 水	留学生オリエンテーション 海外研修プログラム説明会 情報セキュリティ講習会 教育実習協力校・園会議(春)
平成20年4月17日 木	第1回入学試験委員会
平成20年4月18日 金	第42回役員会
平成20年4月21日 月	第1回セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会
平成20年4月23日 水	第74回教授会

月日	事	項
平成20年4月24日 木	第1回フレンドシップ事業企画運営協議会	
平成20年4月25日 金	第1回教員養成カリキュラム委員会 第9回評価支援室会議	
平成20年4月26日 土	第12回特色GPプロジェクト実施委員会	
平成20年4月28日 月	平成20年度新入生合宿研修 (4/26~27)	
平成20年4月29日 火	第1回研究倫理審査委員会	
平成20年4月30日 水	海外教育(特別)研究C(韓国)(~5月11日(日)) 免P受講者(平成20年度入学者)に係る免許(履修)・教員就職指導 ガイダンス	

■附属幼稚園

月日	事	項
平成20年3月3日 月	ひな祭り会	
平成20年3月10日 月	平成20年度入園児選考検査(欠員募集)	
平成20年3月18日 火	第14回修了証書授与式	
平成20年3月19日 水	第3学期終業式	
平成20年3月26日 水	離任式	
平成20年4月1日 火	開園記念日	
平成20年4月4日 金	一日入園	
平成20年4月6日 日	第17回入園式	
平成20年4月7日 月	新任式 第1学期始業式	

■附属小学校

月日	事	項
平成20年3月18日 火	第3学期終業式	
平成20年3月19日 水	第27回卒業証書授与式	
平成20年3月20日 木	欠員募集入学選考	
平成20年3月26日 水	離任式	
平成20年4月7日 月	親任式 第1学期始業式 第28回入学式	

■附属中学校

月日	事	項
平成20年3月6日 木	学校評議委員会	
平成20年3月8日 土	第27回卒業証書授与式	
平成20年3月10日 月	2学年修学旅行(~13日(木))	
平成20年3月24日 月	第3学期終業式	
平成20年3月26日 水	離任式	
平成20年4月1日 火	開校記念日	
平成20年4月8日 火	新任式	
平成20年4月9日 水	第1学期始業式	
平成20年4月10日 木	第28回入学式	



上越教育大学学報

第 104 号 平成 20 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務部総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214 / 3215